

「ロボット×レスキュー2 大殺さん(17)は震災の時、白005」(読売新聞大阪本社 宅近くで生き埋めになった被災者などを助けることが出来るロボットを作りたいと参加した。無線力メウが自在に動くよう工夫を凝らしたと話していた。

阪神大震災を機に始まった

会場ではロボット関連企業

救助ロボ工夫競う

コンテスト
きょう決勝

コンテストは5回目。会場には技術を紹介する展示や、鉄は崩れた家の模型(8分の1サイズ)を配した6・8級四方の疑似被災地が設けられ、がれきの下から2体の人形を救出し出す速さや技を競った。

にきわった。

「がんばろうKOBÉ」のチーム名で出場した神戸市立工業高等専門学校(078・303・4007)の3年宮川



がれきの間を走り人形を探すレスキューロボット